

李孫  
里足

八犬傳

五

^ 13  
3704  
5



門 へ 18  
號 3704  
卷 5

原傳小出せそろの戸田川の繡像を見ろふ力二尺八寸裝束へ中出  
ゆくものなを。侶小素肌は画一の画工のころの知らぬも。腹巻を  
どで武者めたるの大塚より追隊の勢と打交うその戦ひを  
何方が何方から分解らぬ故ふ。故意と画組を本文と透そ  
書一ののあらん。予も其心ある成りて。原傳のまき画せされごも。  
這回あて二個が素肌で。後荒茅山の條下ふいさ。紀念の腹巻  
臂單懸當の都合が。あぬと看官の目角を。あつらぬん。と先  
達まふ小掛。あつらぬん。下紙。夏あつらぬん。小言ひ。あつらぬん。又これ自己が用  
心の。見等。の。夏。の。誤り。の。未。も。多。う。ん。惣。ハ。カ。二。尺。八。寸。画  
組。の。例。小。推。當。て。見。ろ。ふ。と。願。ふ。ふ。らん

平夏の孟春新鑄

平夏新鑄



荒茅山の  
老女

若黨  
姥  
世四郎

日  
触  
落  
紫  
水



神宮川の  
漁  
獵  
平

侍女  
音音

見  
し

ハナ作













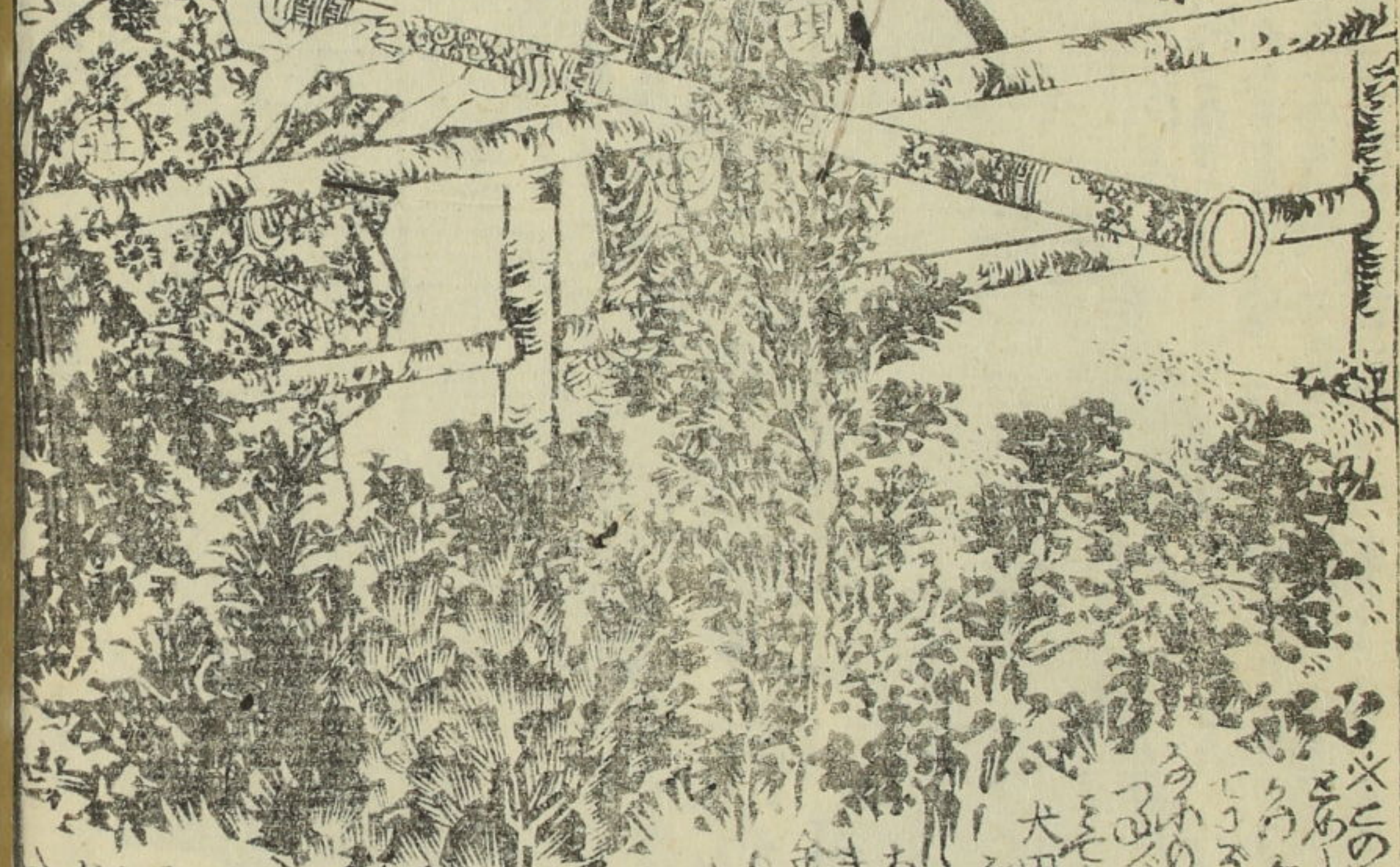




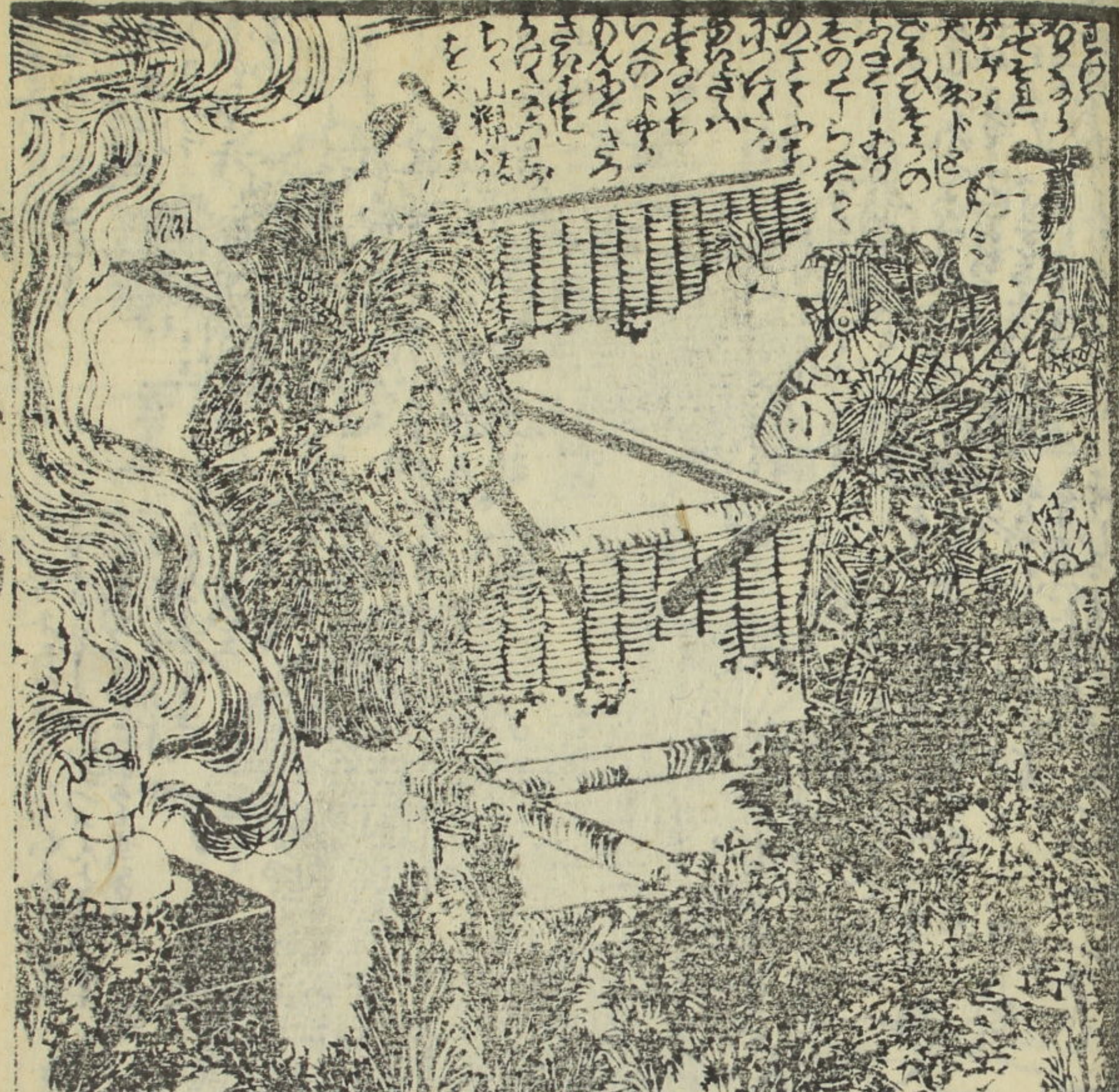




そのまじりたるを...  
左文字に...  
あつて...  
あつて...



大田...  
あつて...  
あつて...  
あつて...



あつて...  
あつて...  
あつて...  
あつて...



















此の二巻は... 江ノ南... 北ノ園... 筆ノ隨...



一勇齋回芳画... 此の画は... 芳画の... 一勇齋の...

加好の主人大傳上編

江南は橘も江北へ種るとなり。忽地化しを枳と爲す。... 唯々口を酸く... 記すよれん



嘉永四支孟春新賧

為永春水記



再出

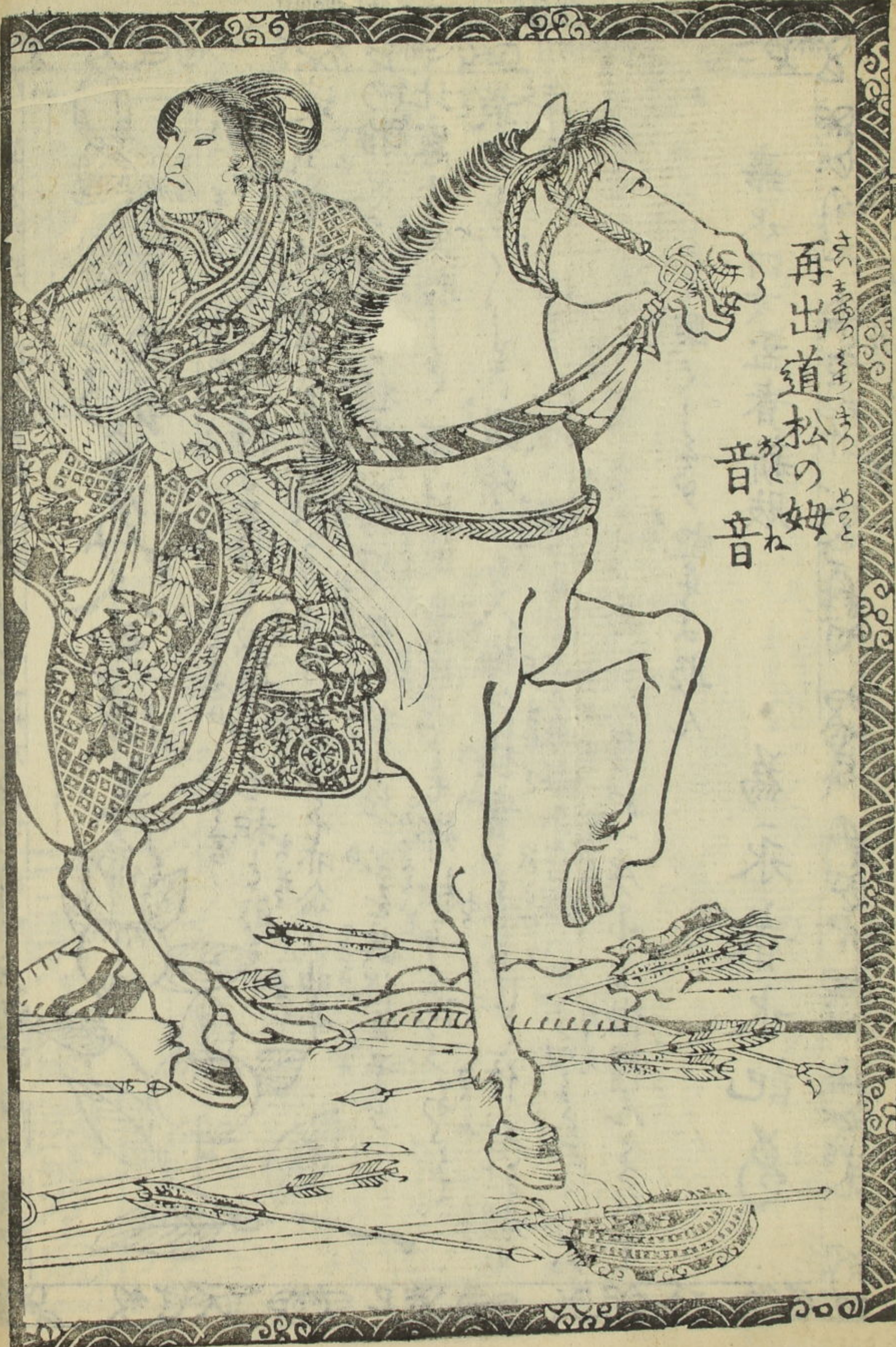
尺八郎が妻

單節

再出

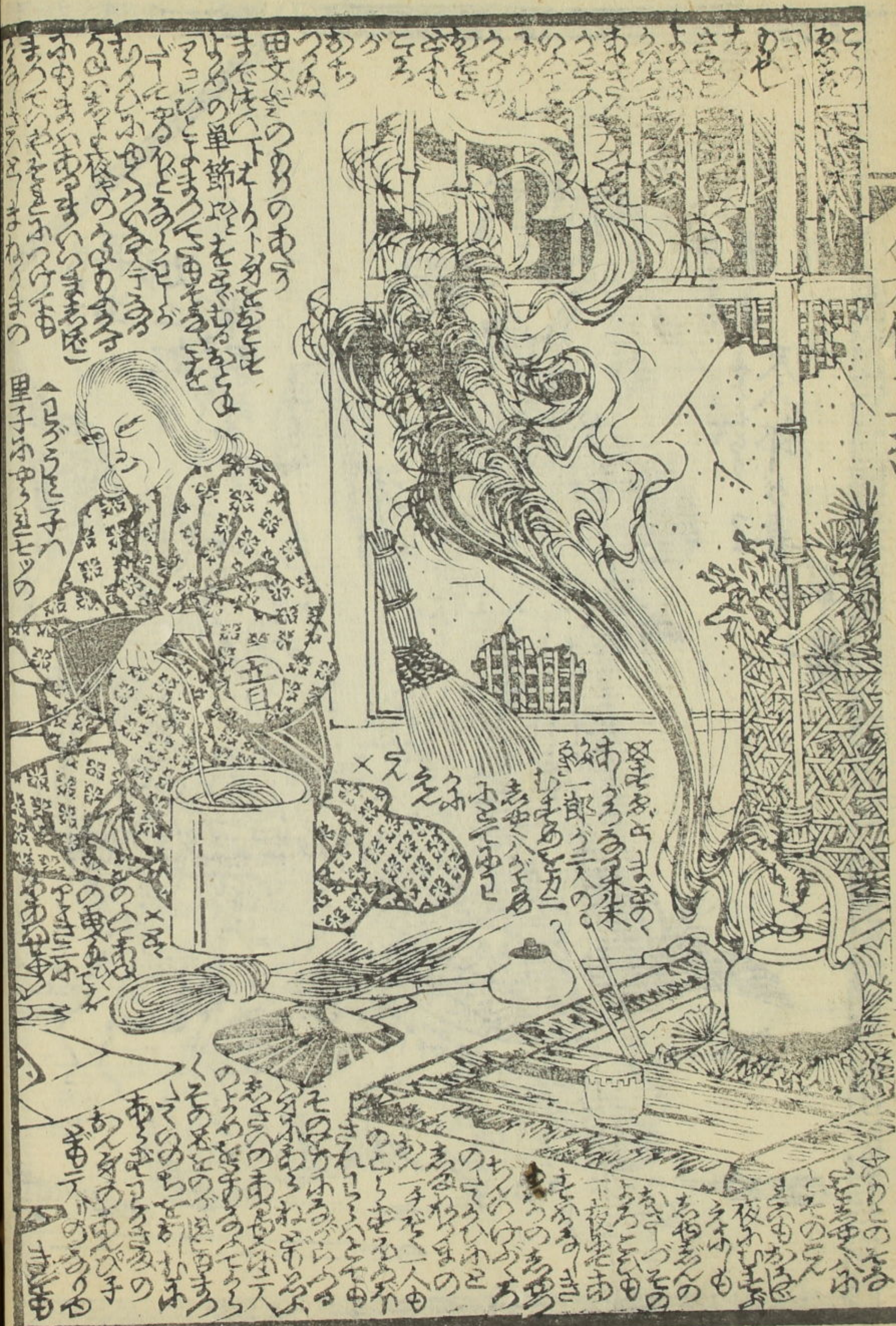
加二郎

渾家曳手



再出道松の母

音音















八犬傳十一卷



八犬傳十一卷





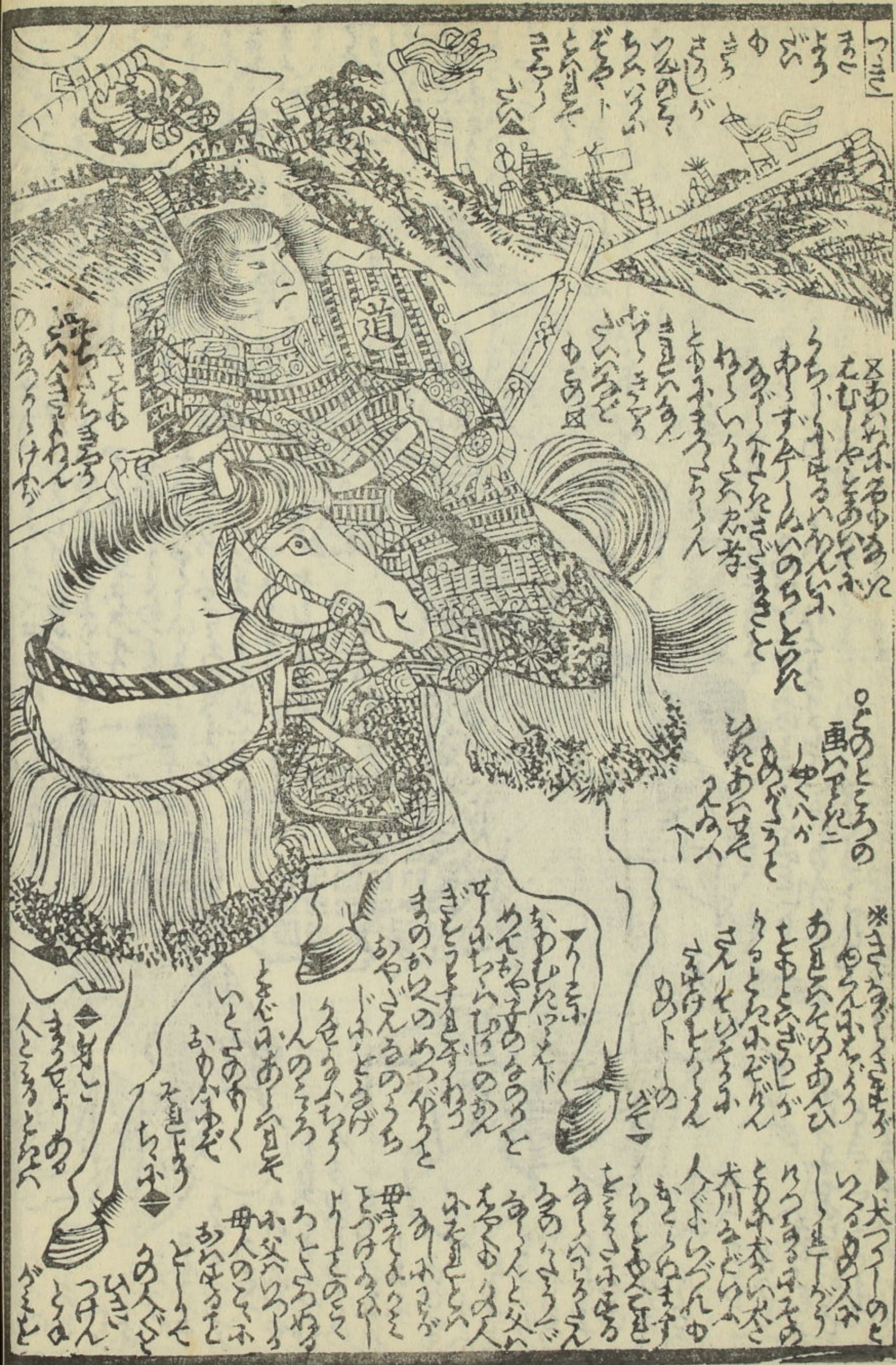




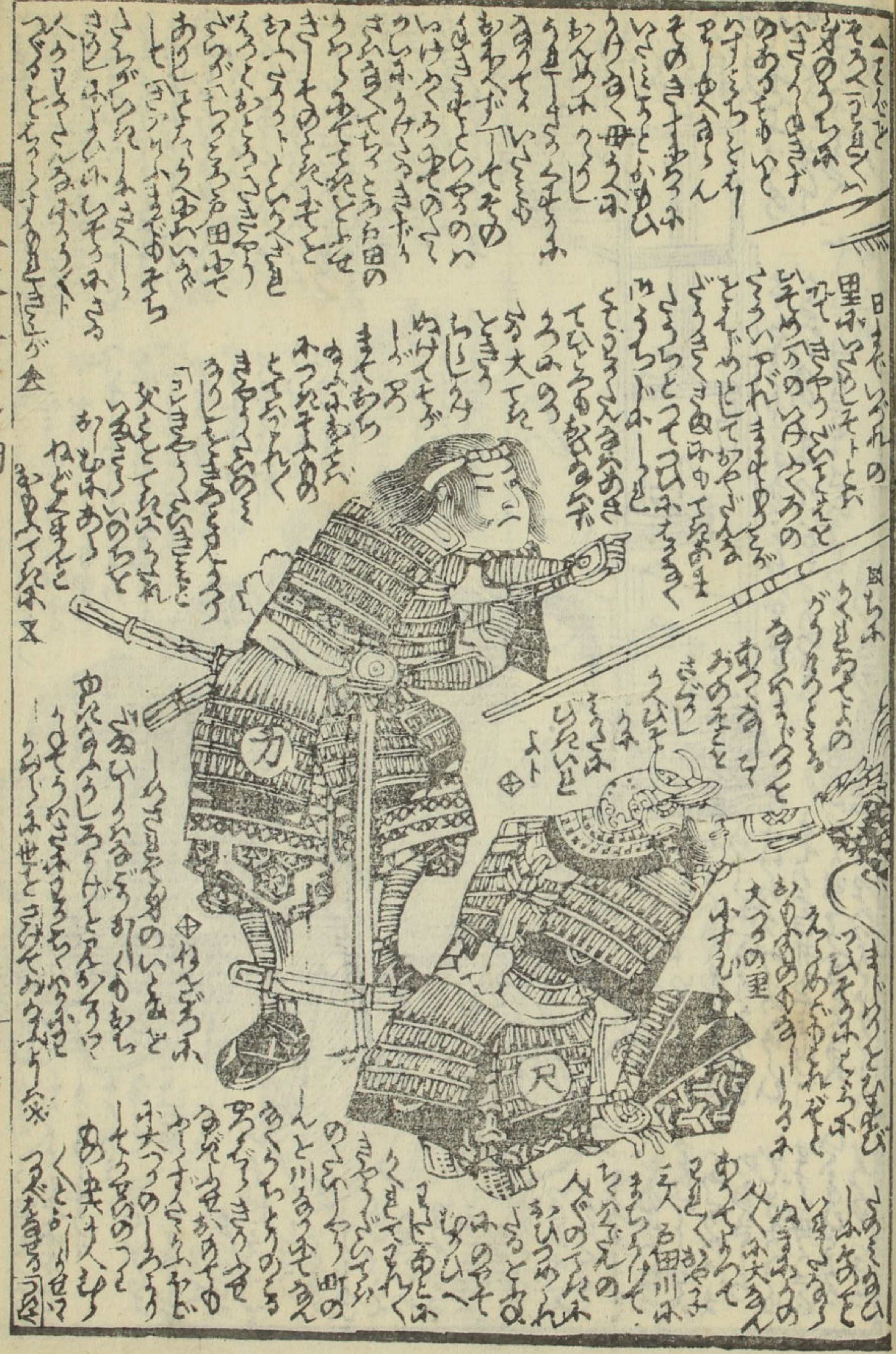
八景山一編



八景山一編

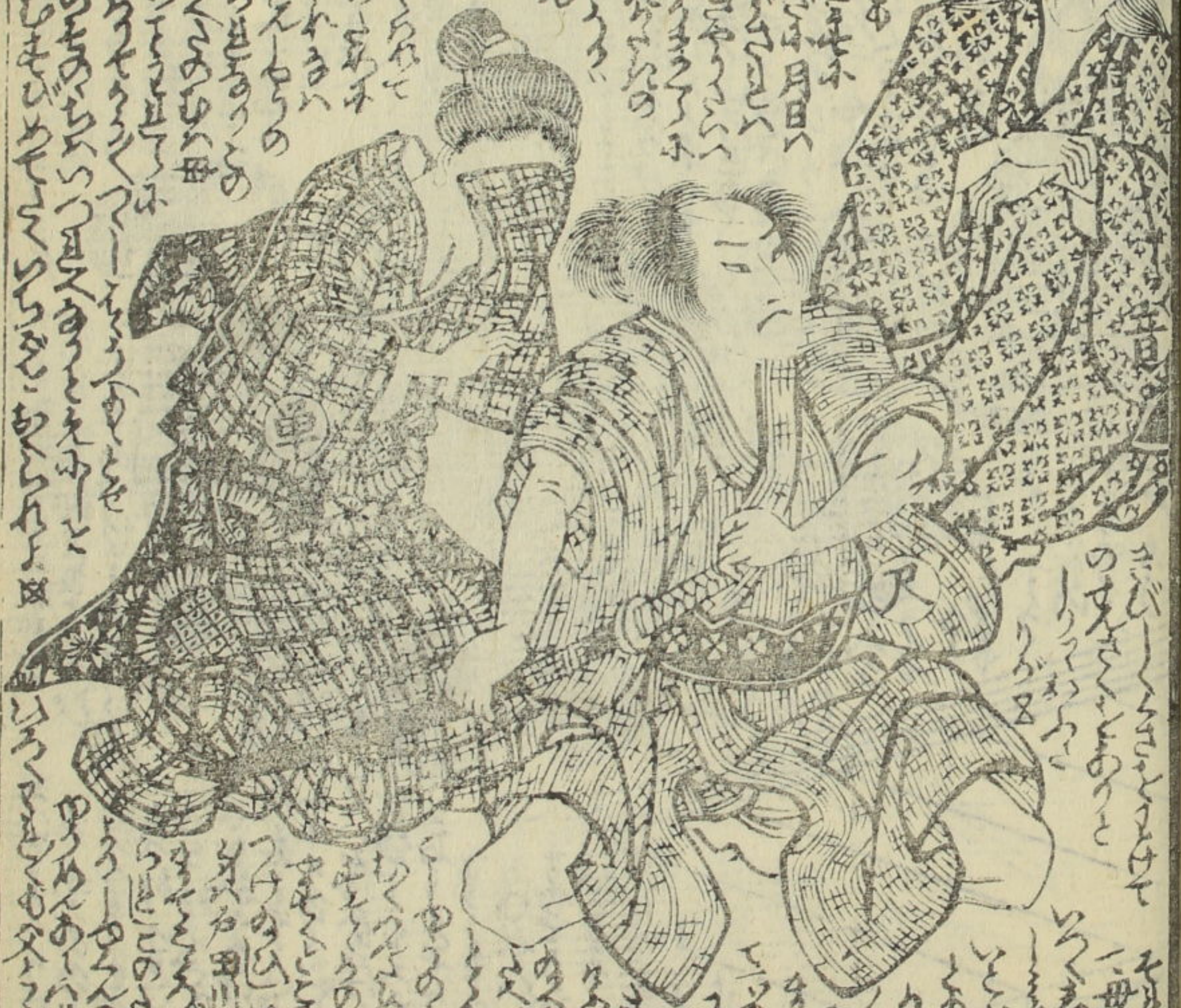


Vertical text columns on the right side of the page, including a page number '十二' at the bottom.



Vertical text columns on the left side of the page, including a page number '十三' at the bottom.

江戸の町は、大層な賑わいがある。その中でも、大川沿いの賑わいには、目を見張るものがある。
 大川沿いには、多くの店屋が並び、人々が行き交う。その中でも、大川沿いの賑わいには、目を見張るものがある。
 大川沿いには、多くの店屋が並び、人々が行き交う。その中でも、大川沿いの賑わいには、目を見張るものがある。
 大川沿いには、多くの店屋が並び、人々が行き交う。その中でも、大川沿いの賑わいには、目を見張るものがある。
 大川沿いには、多くの店屋が並び、人々が行き交う。その中でも、大川沿いの賑わいには、目を見張るものがある。



大川沿いの賑わいには、目を見張るものがある。大川沿いには、多くの店屋が並び、人々が行き交う。
 その中でも、大川沿いの賑わいには、目を見張るものがある。大川沿いには、多くの店屋が並び、人々が行き交う。
 その中でも、大川沿いの賑わいには、目を見張るものがある。大川沿いには、多くの店屋が並び、人々が行き交う。
 その中でも、大川沿いの賑わいには、目を見張るものがある。大川沿いには、多くの店屋が並び、人々が行き交う。





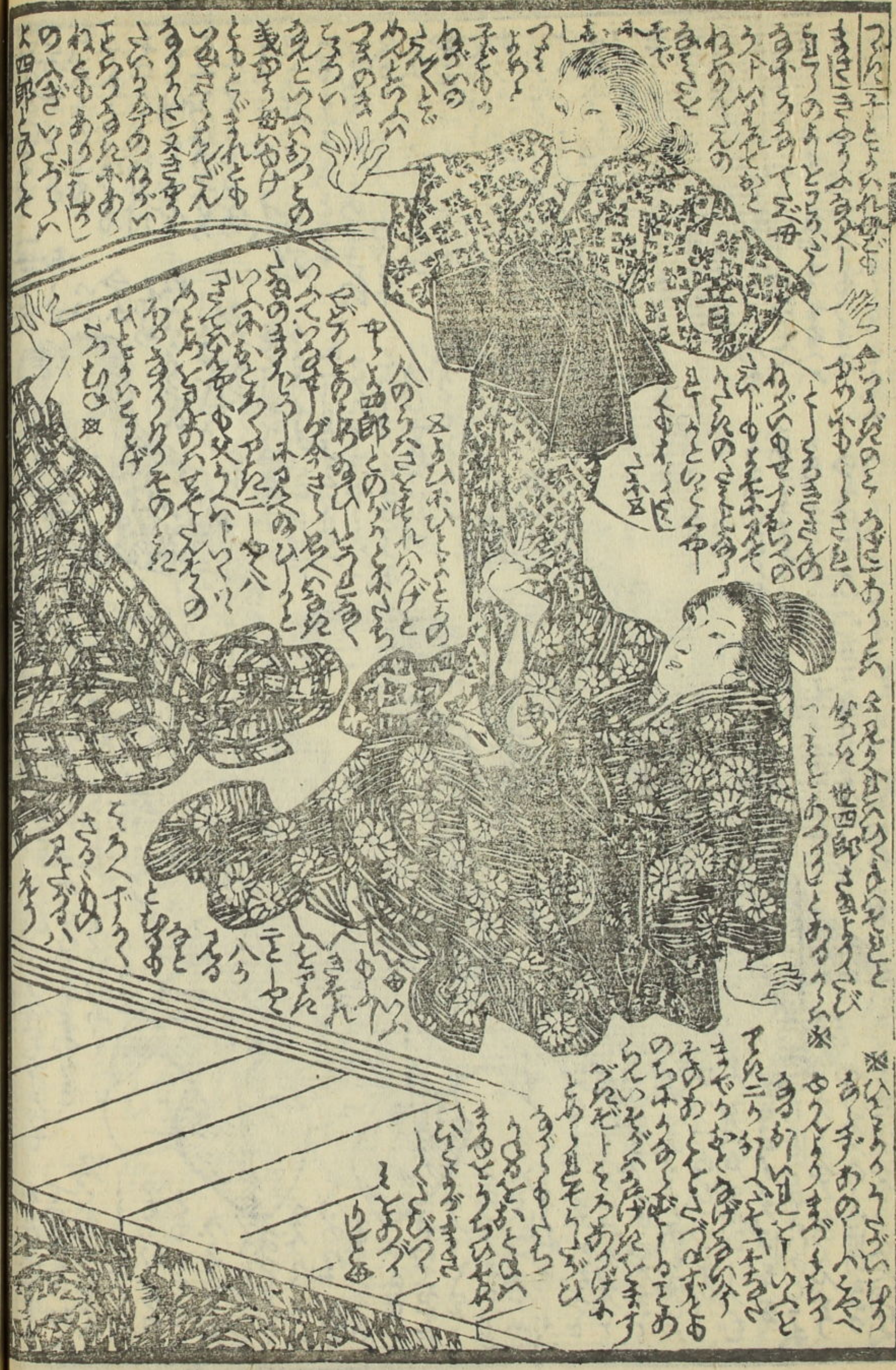
ついでに... 世四郎... 美雪... 今... 世四郎... 美雪... 今... 世四郎... 美雪... 今...

世四郎... 美雪... 今... 世四郎... 美雪... 今... 世四郎... 美雪... 今... 世四郎... 美雪... 今...

世四郎... 美雪... 今... 世四郎... 美雪... 今... 世四郎... 美雪... 今... 世四郎... 美雪... 今...

世四郎

世四郎



ついでに... 世四郎... 美雪... 今... 世四郎... 美雪... 今... 世四郎... 美雪... 今...

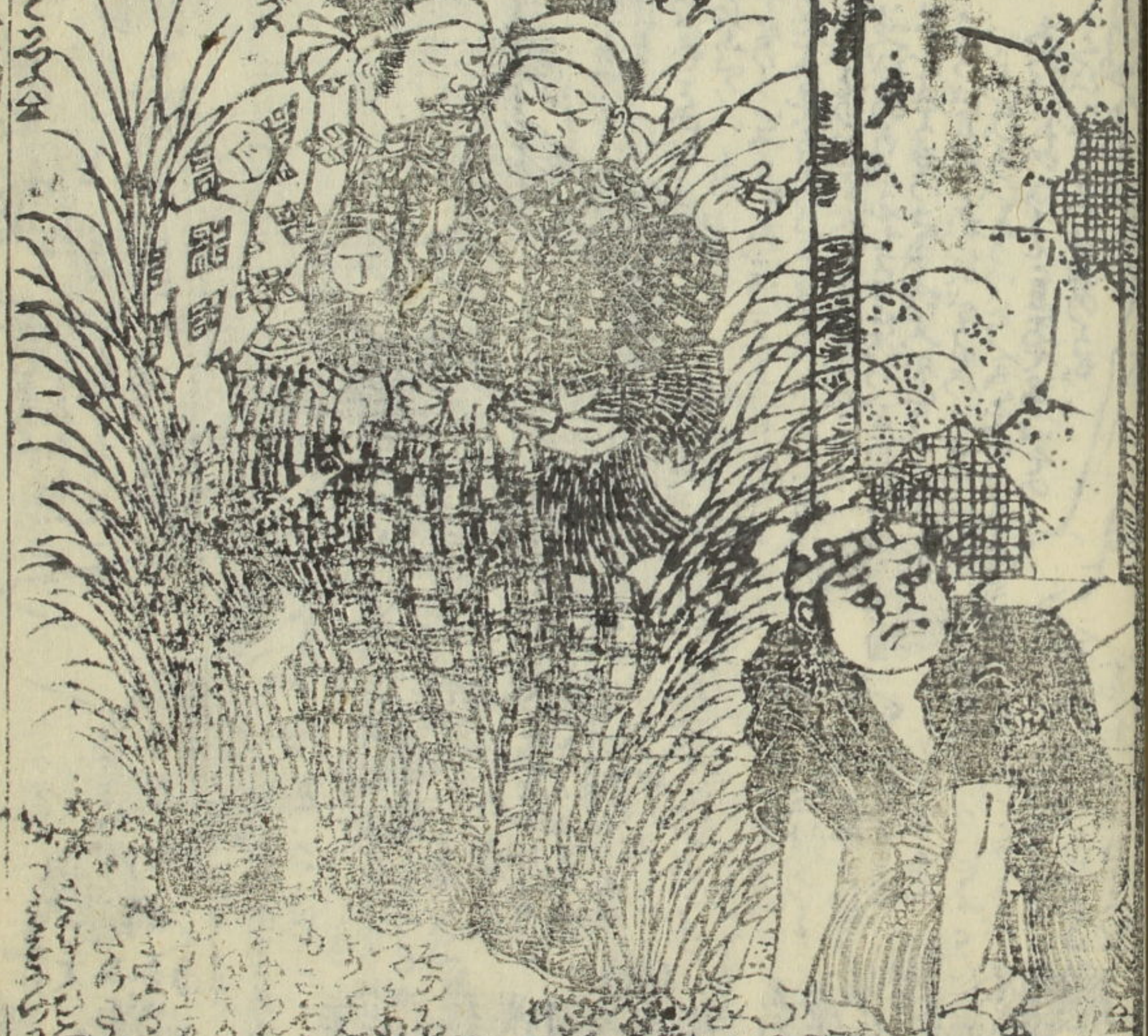
世四郎... 美雪... 今... 世四郎... 美雪... 今... 世四郎... 美雪... 今... 世四郎... 美雪... 今...

世四郎... 美雪... 今... 世四郎... 美雪... 今... 世四郎... 美雪... 今... 世四郎... 美雪... 今...

世四郎

世四郎

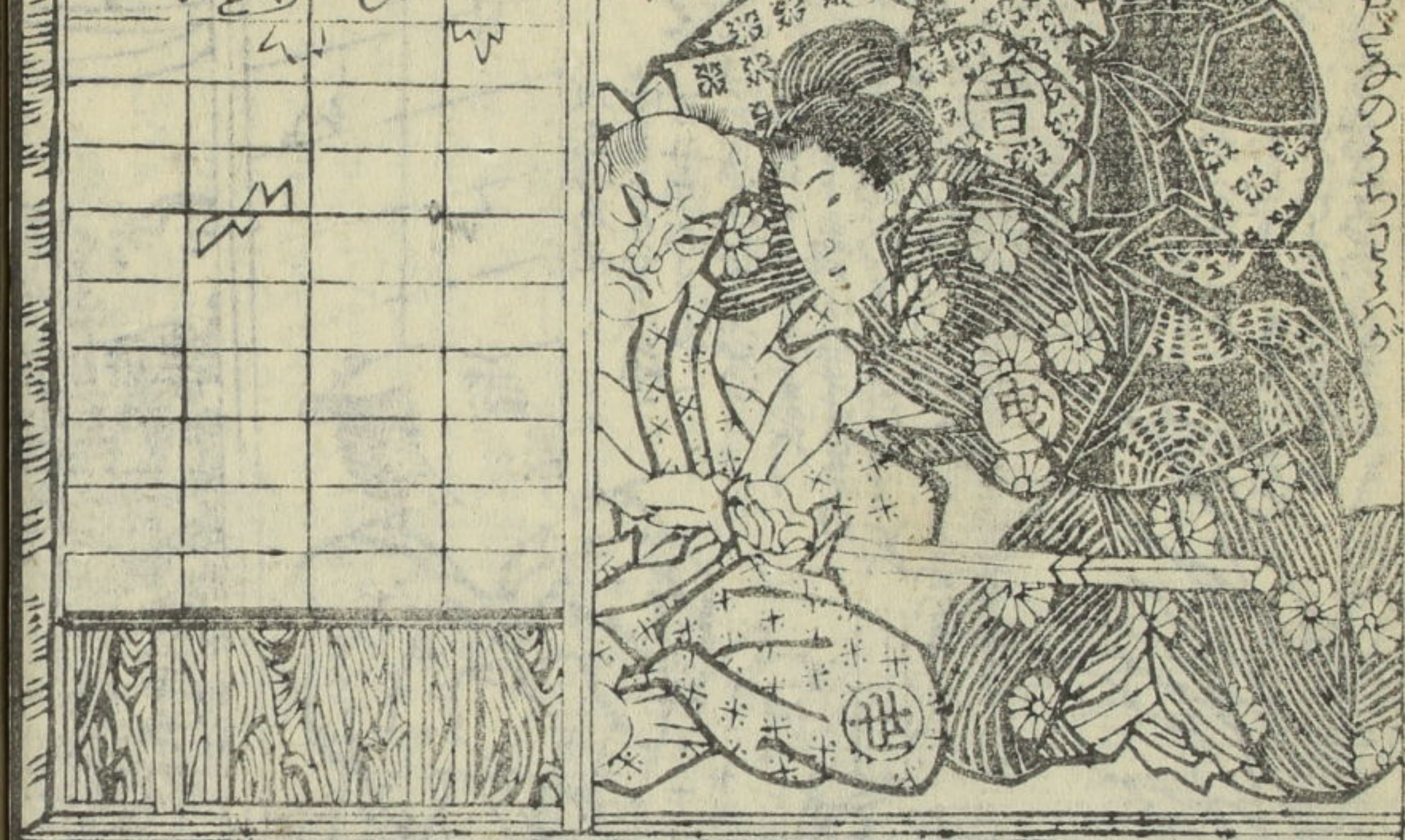
Handwritten text in vertical columns at the top of the left page, likely a title or introductory text.



Handwritten text in vertical columns at the bottom of the left page, likely dialogue or commentary.

Vertical text on the left margin of the left page.

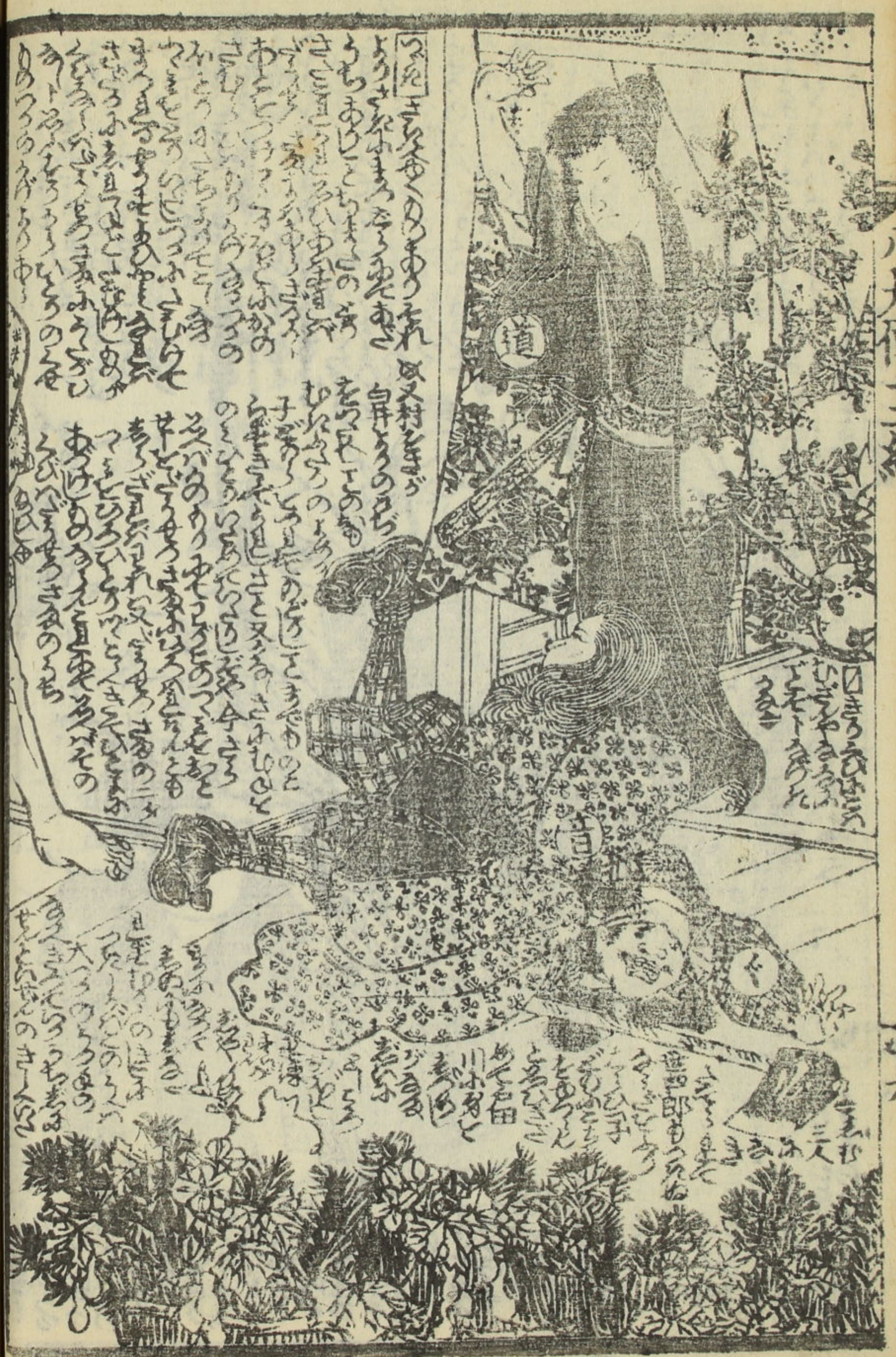
Handwritten text in vertical columns at the top of the right page, above the illustration.



Handwritten text in vertical columns at the bottom of the right page, below the illustration.

Vertical text on the right margin of the right page.

Small vertical text on the right margin of the right page.



此の世に...  
 世に...  
 世に...  
 世に...  
 世に...  
 世に...

大正十一年  
 大正十一年  
 大正十一年  
 大正十一年  
 大正十一年

大正十一年  
 大正十一年  
 大正十一年  
 大正十一年  
 大正十一年

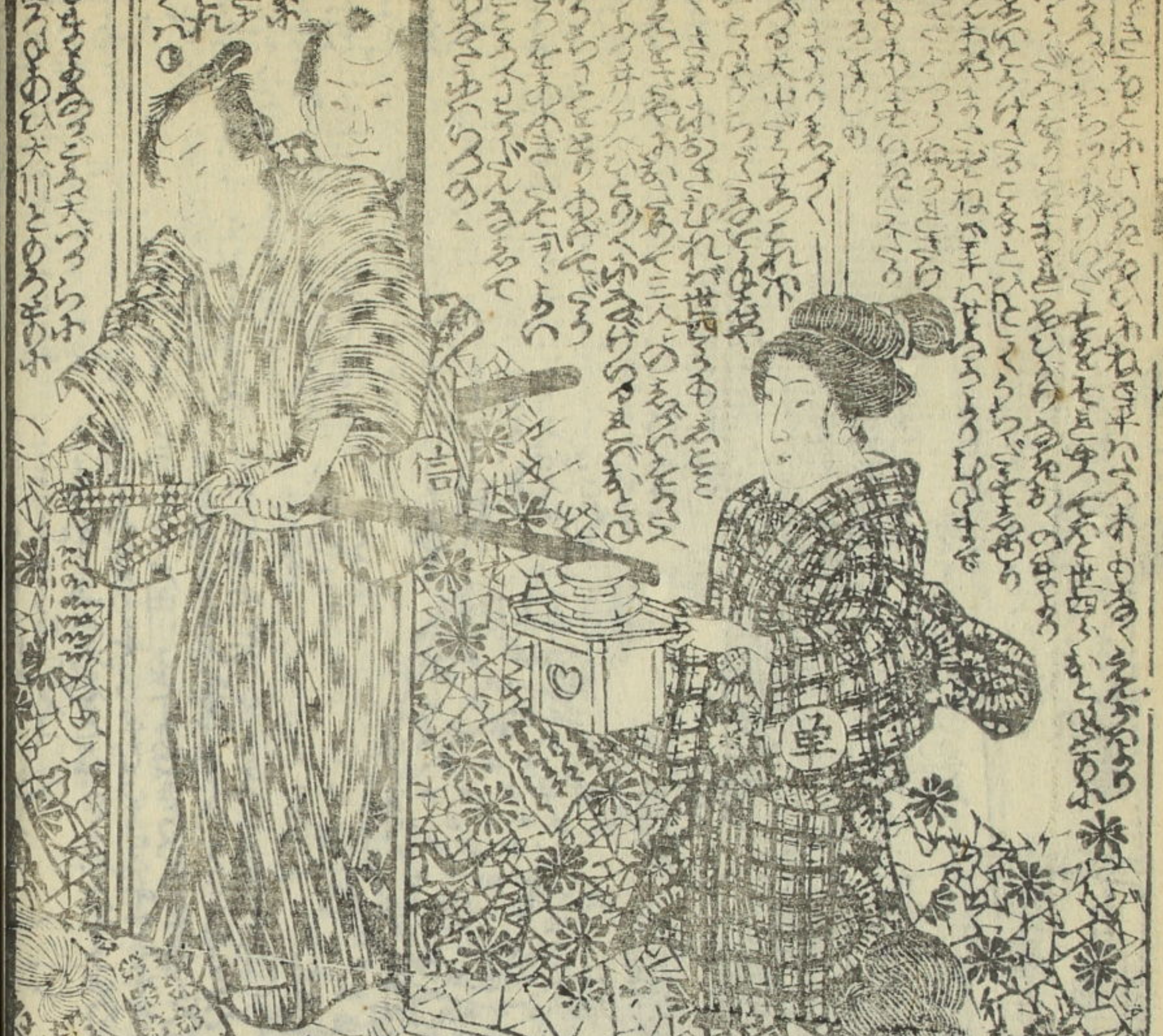
世に...  
 世に...  
 世に...  
 世に...  
 世に...

Handwritten text in vertical columns at the top of the left page, likely serving as a title or introductory text for the scene below.



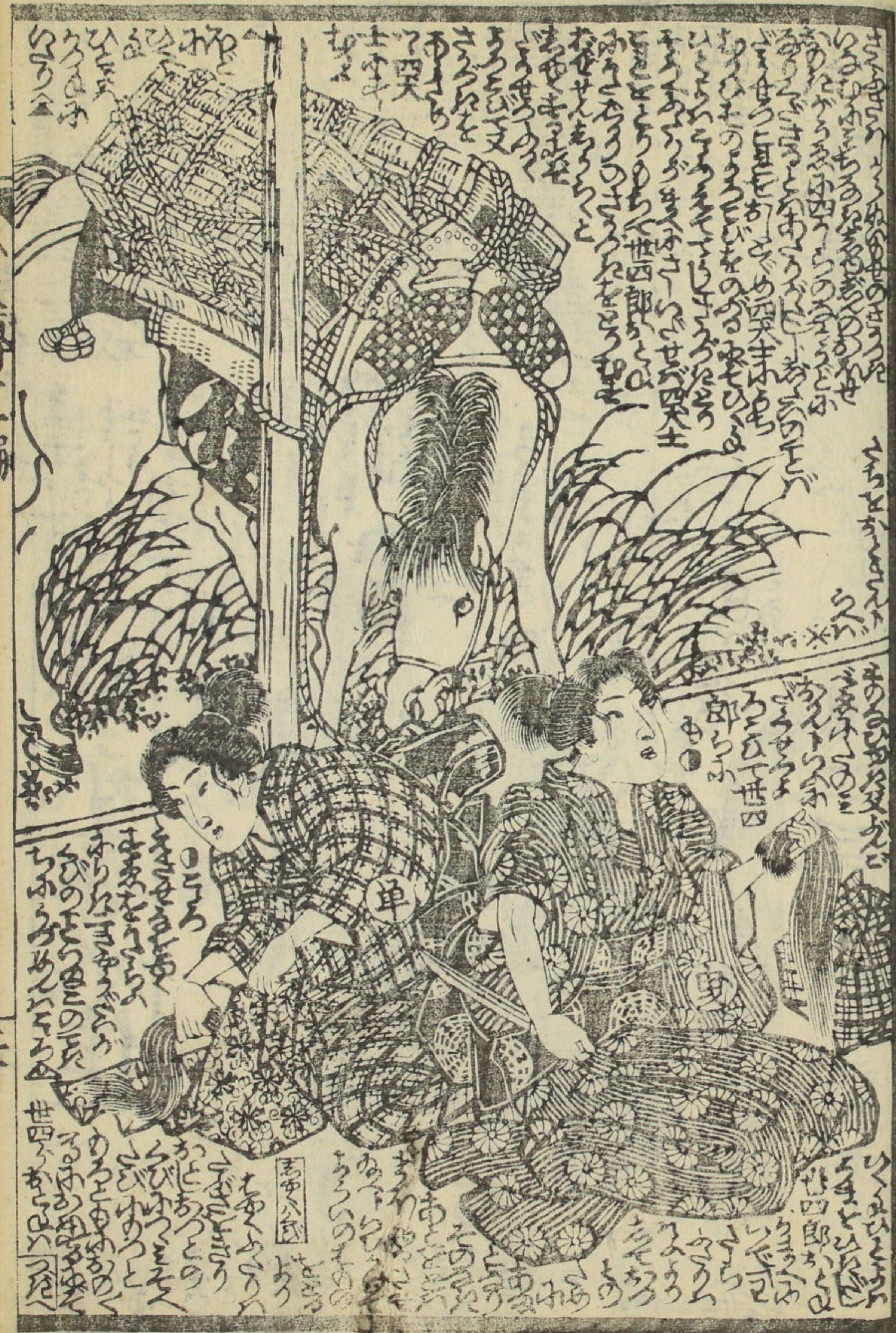
Handwritten text in vertical columns at the bottom of the left page, continuing the narrative or providing commentary on the illustration above.

Handwritten text in vertical columns at the top of the right page, likely serving as a title or introductory text for the scene below.



Handwritten text in vertical columns at the bottom of the right page, continuing the narrative or providing commentary on the illustration above.





全書の御覧...  
此の御覧...  
其の御覧...  
其の御覧...  
其の御覧...

鳥永春水作



一勇齋國芳画

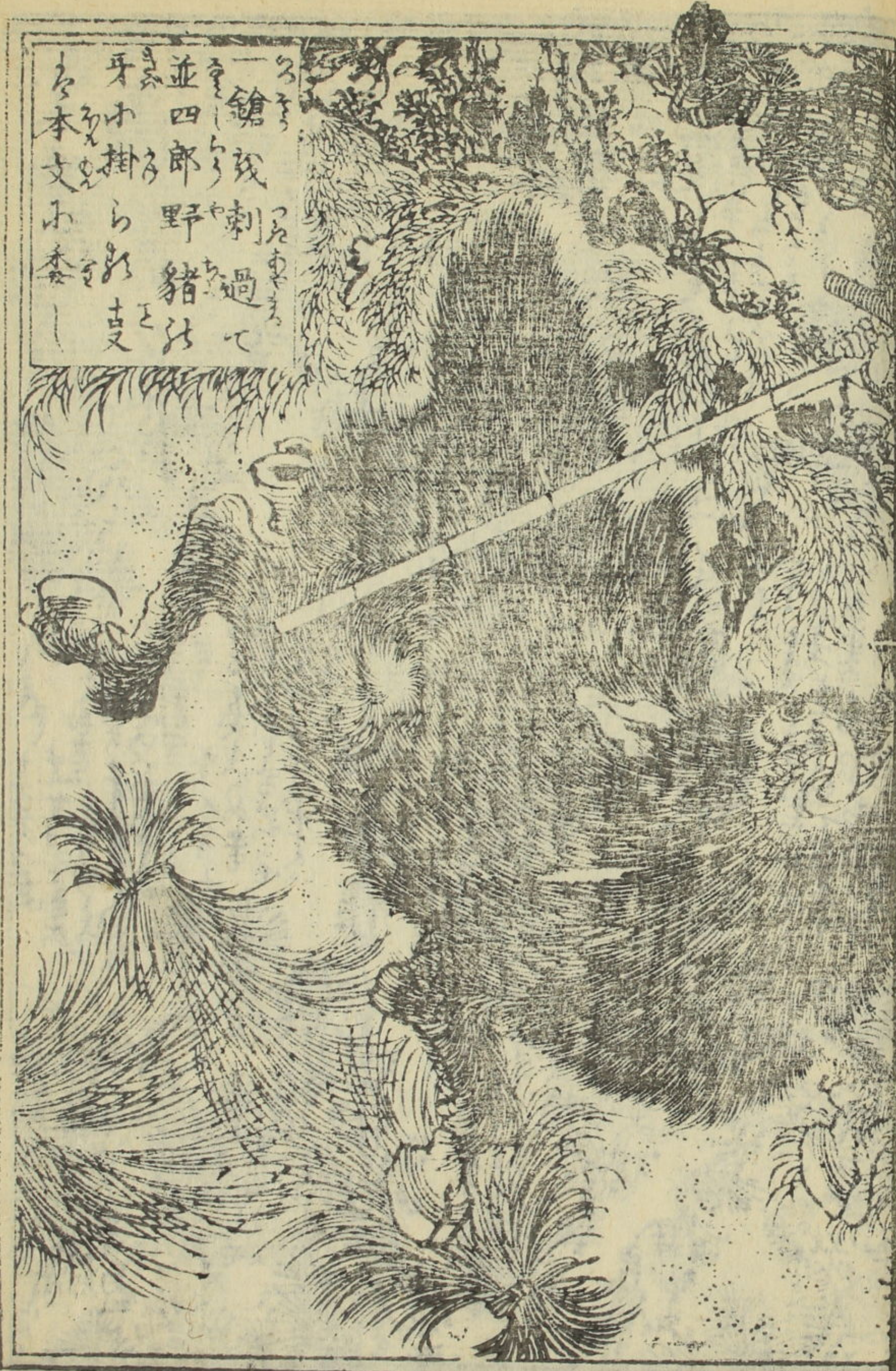
生著述者...  
一時の戲墨...  
と侶...  
犬村...  
舟子...  
餘...  
業...  
果...  
前年...  
柳北...  
辛亥春新鑄

柳北の春水誌

辛亥春新鑄



一鎗我刺過て  
 並四郎野豬は  
 牙小掛らぬ  
 本支小委し



八尋三編

賊婦  
 船中

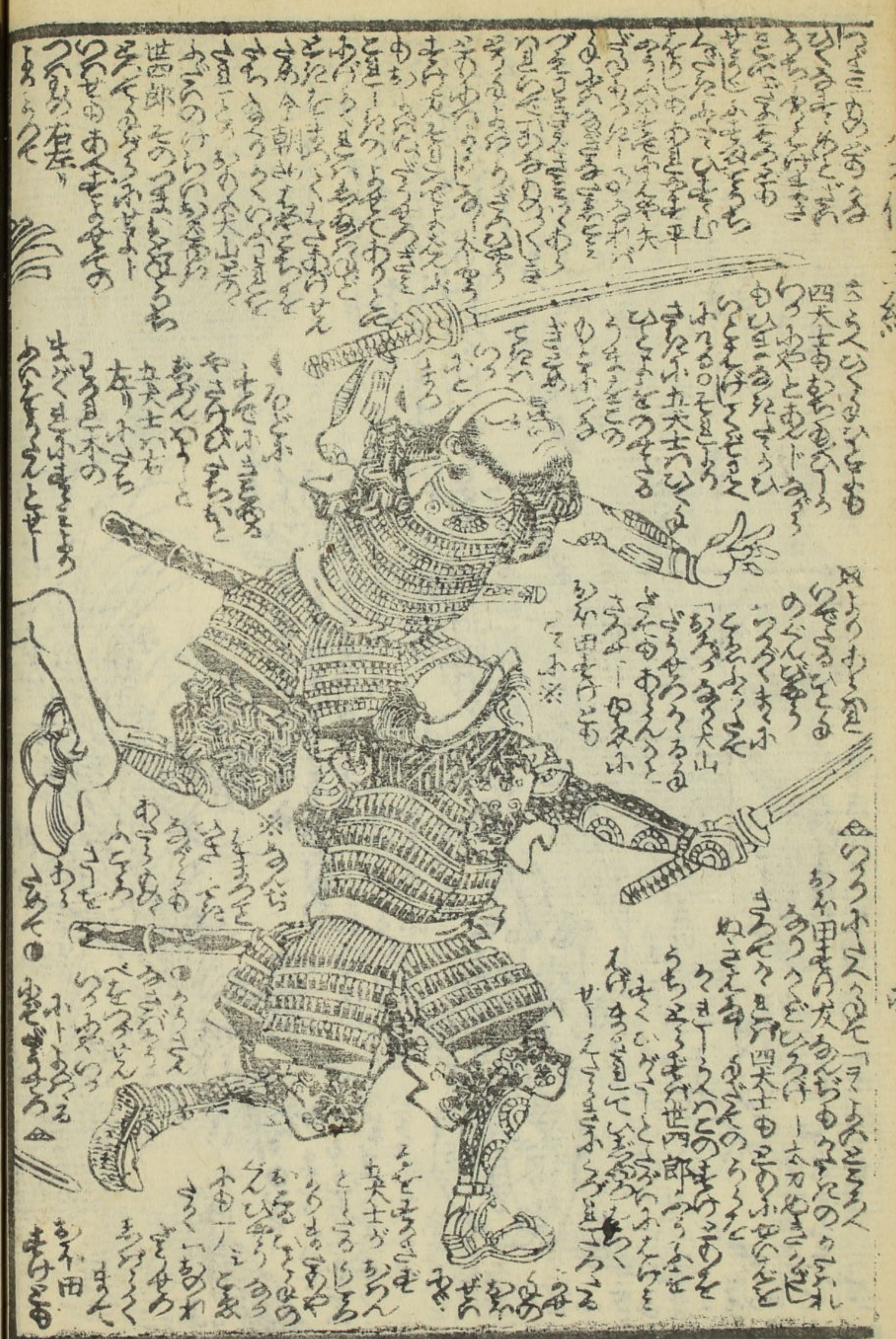
鷗尻の  
 並四郎

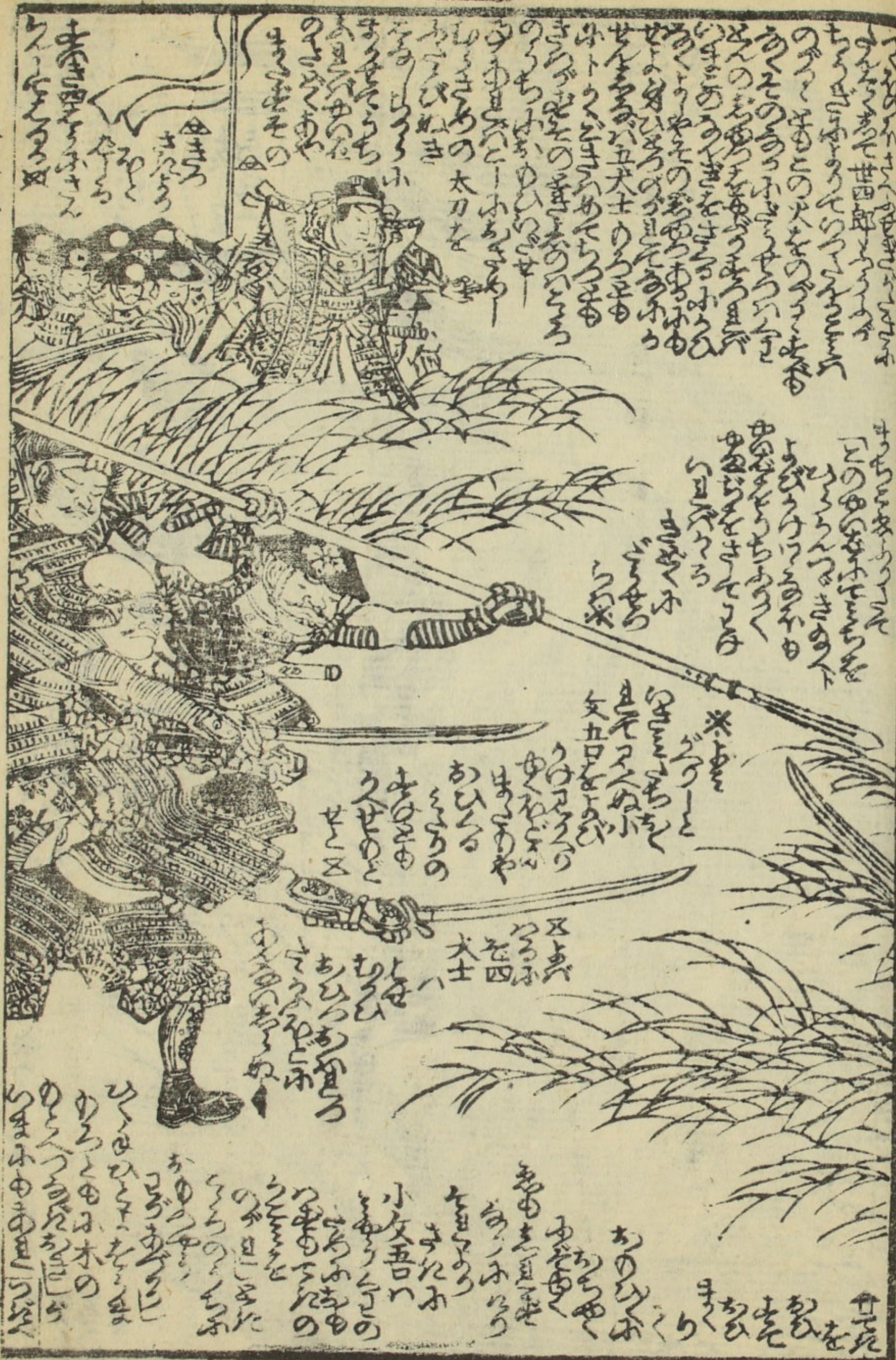


夕傳十二終









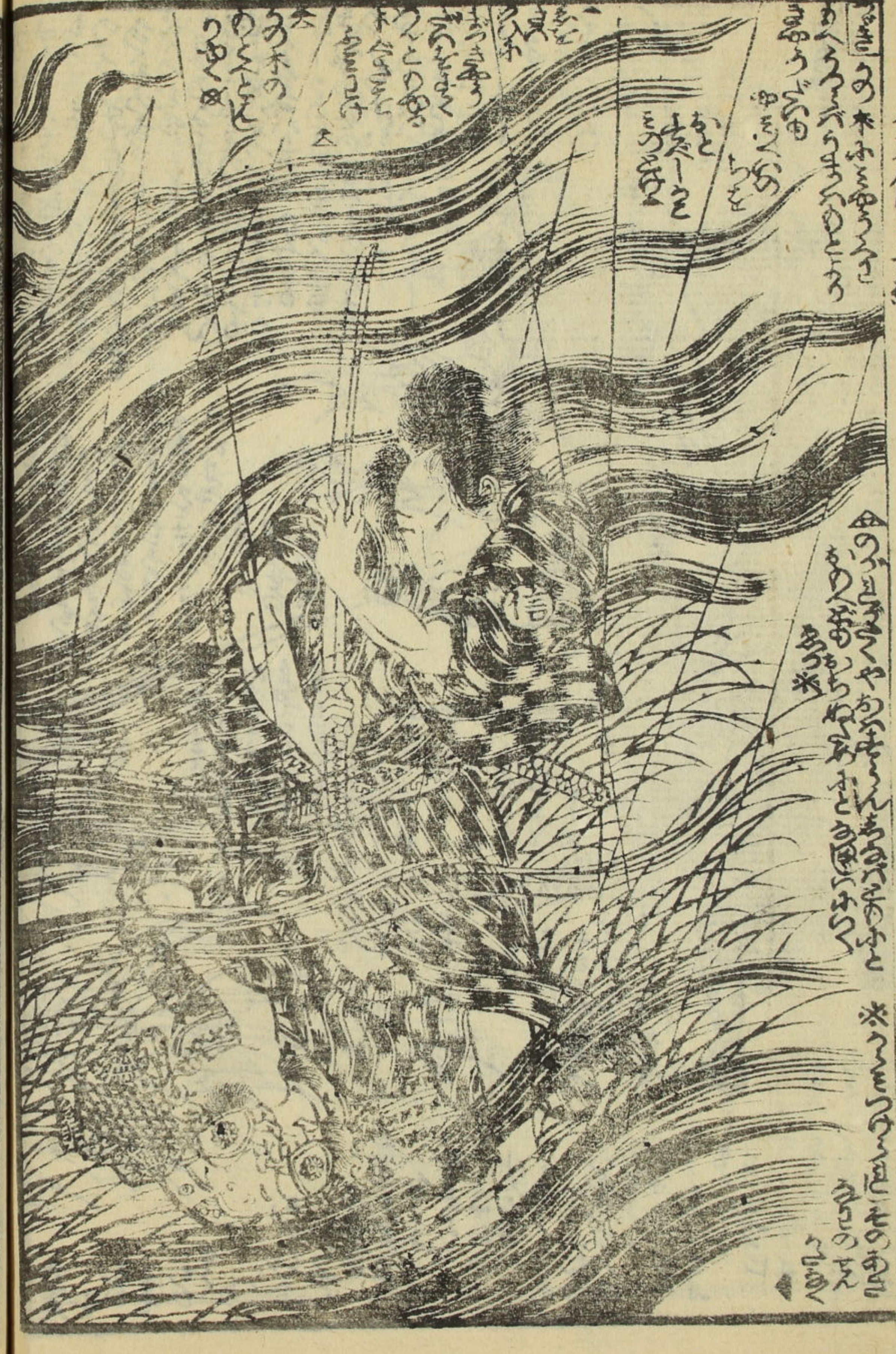
山崎闇斎



山崎闇斎



舟人... (Boatman...)  
 ... (omitted text)



舟人... (Boatman...)  
 ... (omitted text)

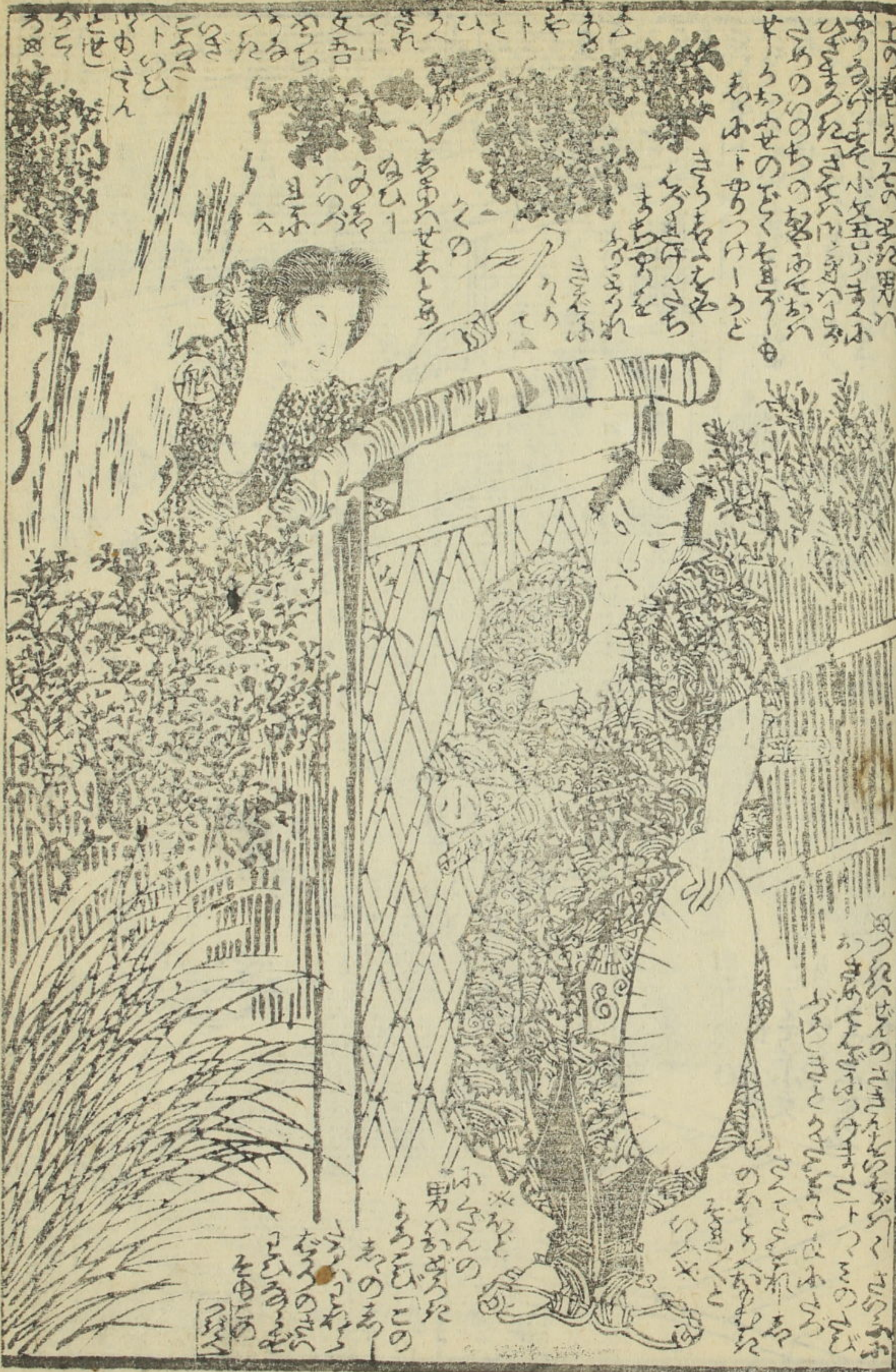
舟... (Boat...)  
 ... (omitted text)  
 ... (omitted text)  
 ... (omitted text)











六郎

上の巻... 女... 男...

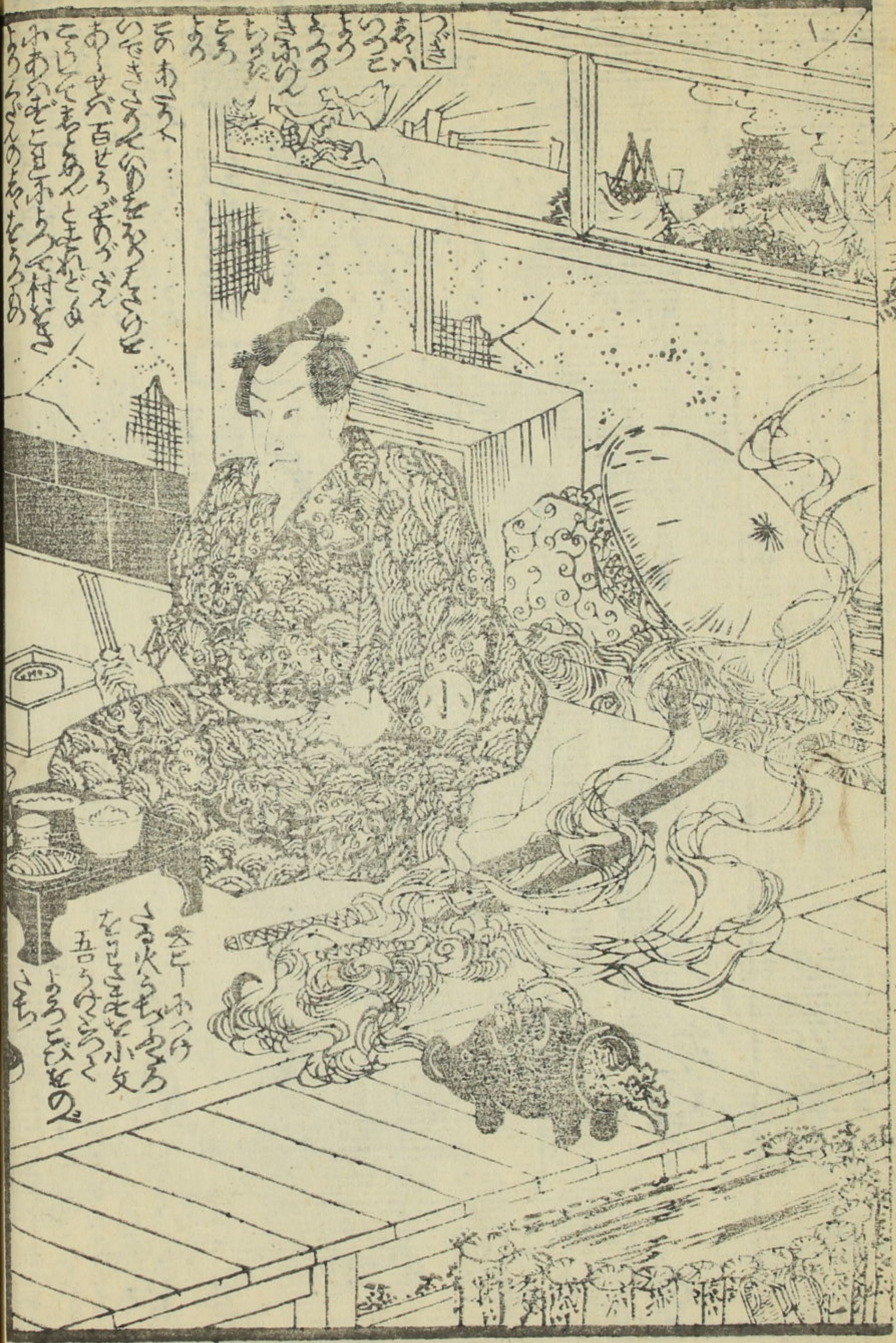
Vertical text columns surrounding the illustration on the left page.

Vertical text columns at the top of the right page.



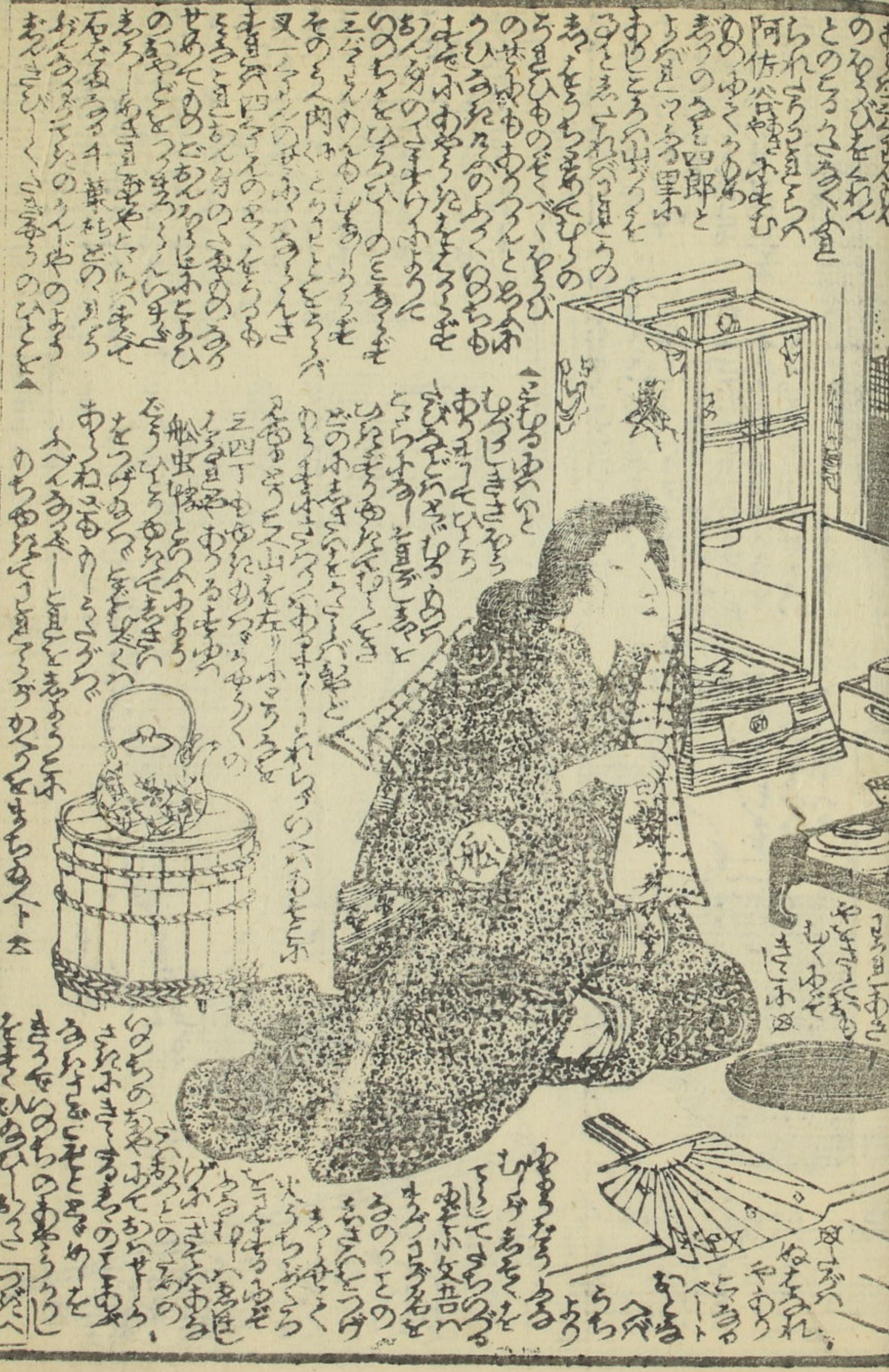
Vertical text columns at the bottom of the right page.

國芳画



あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに

あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに



あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに

あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに

あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに  
あつちのやうに



此の四郎は  
 父の命を  
 守るに  
 死を覚悟  
 して居る  
 故に  
 此の如く  
 坐して居る  
 也  
 其の  
 志は  
 固き  
 故に  
 此の如く  
 坐して居る  
 也

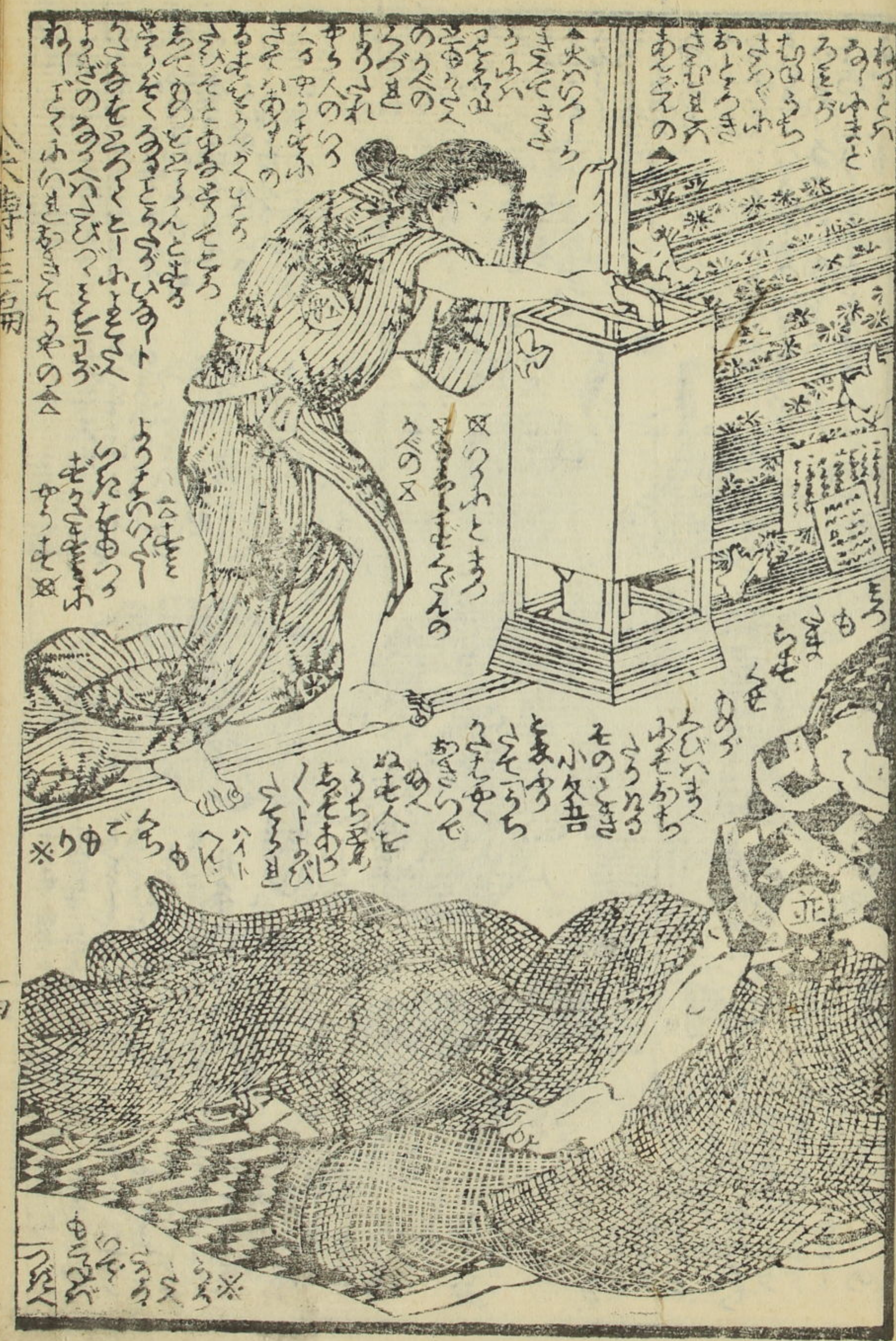


此の如く坐して居るは  
 父の命を守り  
 死を覚悟して居る  
 故に坐して居る也  
 其の志は固き故に  
 此の如く坐して居る也

此の如く坐して居るは  
 父の命を守り  
 死を覚悟して居る  
 故に坐して居る也  
 其の志は固き故に  
 此の如く坐して居る也

ノ、イ、三、三、三

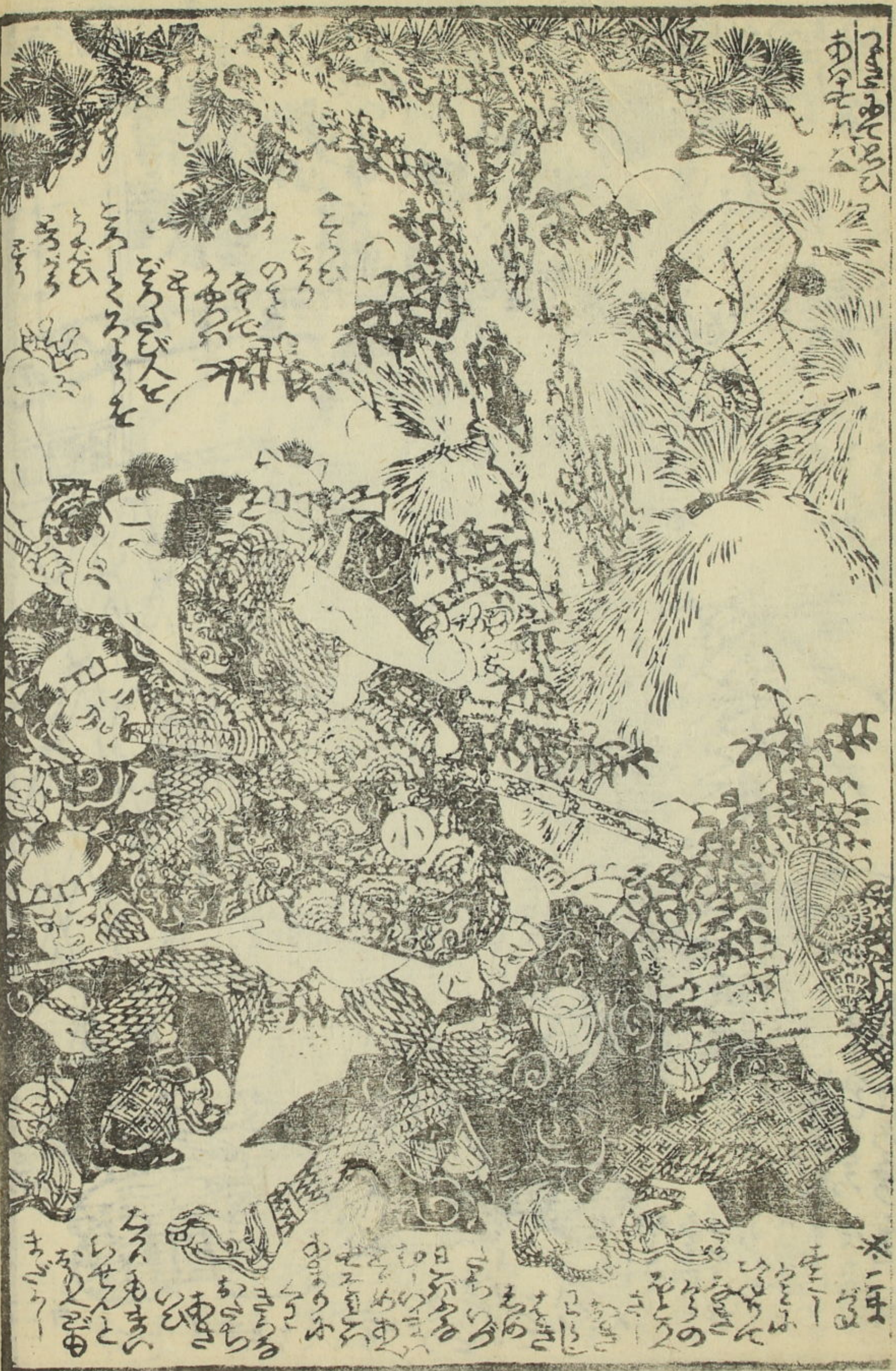
廿











山崎の戦

山崎の戦  
徳川軍の勝利  
山崎の戦は  
徳川軍の勝利  
山崎の戦は  
徳川軍の勝利

山崎の戦  
徳川軍の勝利  
山崎の戦は  
徳川軍の勝利  
山崎の戦は  
徳川軍の勝利



山崎の戦  
徳川軍の勝利  
山崎の戦は  
徳川軍の勝利  
山崎の戦は  
徳川軍の勝利

山崎の戦  
徳川軍の勝利  
山崎の戦は  
徳川軍の勝利  
山崎の戦は  
徳川軍の勝利

山崎の戦  
徳川軍の勝利  
山崎の戦は  
徳川軍の勝利  
山崎の戦は  
徳川軍の勝利





小文吾の  
 五郎の  
 四郎の  
 三郎の  
 二郎の  
 一郎の

大傳三編

小文吾の  
 五郎の  
 四郎の  
 三郎の  
 二郎の  
 一郎の  
 小文吾の  
 五郎の  
 四郎の  
 三郎の  
 二郎の  
 一郎の



小文吾の  
 五郎の  
 四郎の  
 三郎の  
 二郎の  
 一郎の

小文吾の  
 五郎の  
 四郎の  
 三郎の  
 二郎の  
 一郎の

小文吾の  
 五郎の  
 四郎の  
 三郎の  
 二郎の  
 一郎の  
 小文吾の  
 五郎の  
 四郎の  
 三郎の  
 二郎の  
 一郎の





